

一人ひとりに“考えるエンジン”を付ける（自立型人材の育成）

- ・複雑化、高度化する変化に対応できず、異なる意見を調整しながら問題解決するのが難しい
- ・結果的にリーダー不在とマネジメント過剰になる
- ・自分さえよければという考えが蔓延する

<成功している会社の雰囲気（組織風土）>

- ・聞いてもらえた
- ・自分の案だと感じる
- ・褒められた（認められた）
- ・行動の結果が見える
- ・自分の成長が見える

「個人」から「関連性」へ

- ・一人ひとりがなすべきことを考え、関連する人を巻き込み、人の相互作用で組織を動かす問題解決法が必要

<人間関係の基本>

- ・人から言われたことはやりたくない
- ・人から操作されること好まない
- ・自分に関心のあることしか聞かえない
- ・自分の案だと感じると自立的に行動する

ファシリテーターが必要
(チームのプロセスを管理し、チーム力を引き出す支援をする人)

<対話による組織と個人の認識（組織力）>

- ・安心して議論できる場
- ・自分の組織での重要性の認識
- ・組織で腕の見せ所がある
- ・話合中、気付くことがある
- ・話合中で目標ができ行動する

ファシリテーションとは、
集団による知的相互作用を協働促進(共創支援)すること。人の多様性を認め、人の能力を引き出し、問題解決のための協働作業を通して、合意形成をする技術